

なる町内経済の活性化を図る施策を打つことで、景気の下支えを図り、できる限り需要喚起を促して景気の浮揚を図って行くことが求められています。

町の景気浮揚を念頭にいれた経済対策について、町長の所見をお伺いします。

積極予算を編成し、事業を確保している

答弁 町長

現在の国内経済は、雇用不安、消費の落ち込みなど世界的な景気後退の影響が今なお続いています。

この対応として国も大型予算を編成し、雇用対策を含む公共事業の前倒しなどを行い、経済対策予算として当町には、平成20年度に4億1039万円、平成21年度には7億5871万円、今年度は2億2966万円がありました。

この3年間に配分された約14億円を活用し、プレミアム商品券助成事業で町内購買力の底上げや、北檜山中学校体

育館改修事業などの事業が実施できたことで、建設業の雇用確保も図られました。

新年度予算も一般会計に

おいて予算総額は前年比4.1%の増で、小規模特別養護老人ホームの整備費への助成、第1次産業などへの各種支援の継続、簡易水道会計では前年比56.8%増で大成区の水道インフラ整備、下水道会計では、前年比18.3%増で汚水施設共同処理場の整備など、近年にない積極予算を編成し、経済活性化と町づくりのため



今年2月に販売されたプレミアム商品券

の事業を確保したものです。景気対策を町の財源だけでは出来ないもので、国・道の事業を活用するとともに、将来の町づくりのために必要な事業については、財源を見極めていきたいと思います。

再質問

23年度の予算執行の中で、国から従前のような緊急経済対策が入ってくるか極めて不透明です。

町の財政基盤をしっかりと作っていく事と合わせて、23

年度については、経済動向・状況や国の施策を見極めて、町としてタイムリーに公共事業を行うことで、建設関連業者の下支えをしていく事に注視しながら政策展開をしています。事が大事ではないかと思えます。

また、町の物品調達業務については、無論ルールに基づいた上で優先的に町内の中小業者から調達する事を町の姿勢として鮮明に出し、業務を遂行できるように環境整備をしていきたいと思います。

受注機会の確保に努めていきたい

再答弁 町長

町のお金は町に落とすことを原則として考えています。

地元調達ができるものは、地元で調達する、町が補助を行っている団体なども当然同じだと言えます。

これらの事に関しては、23年度予算編成方針において全職員に指示したところで、中小零細企業の受注機会の確保に努めていきたいと考えており、これからもそうした姿勢で対応していきます。

中央川の災害対策は

細川 伸 男 議員

質問

昨年、豪雨による大変大きな災害が発生しました。

近年日本各地でゲリラ豪雨と言われる断続的集中豪雨で河川の氾濫や、がけ崩れが発生しています。



当町でも、住居や農林水産業等広範囲にわたり甚大な災害がありました。

町長の執行方針で、後志利別川の被害対策として本流の河道改修には触れています。中央川については何も触れていません。

中央川は、大雨・洪水のたびに排水が出来ず、ポンプによる排水をしている状況であることから、今後中央川の対策をどう考えているのか町長にお伺いします。

ポンプの能力増強について国に要望する

答弁 町長

中央川の排水につきましては、真駒内川本流の水位上昇により、真駒内2号樋門を閉めて、国道229号を横断する導水路により北檜山排水機場へ送水しています。

北檜山排水機場は昭和59年完成時、毎秒2トンの排水能力でしたが、平成9・10年の続けたの浸水被害以降、町の要望により平成14年度にポン

プの改修で毎秒3トンと能力増強されたことから、それ以降の被害の発生はありませんでした。

しかし、今回の豪雨では北檜山排水機場の排水能力を超えた水量であったため、新たにポンプを設置し、排水をしました。よって、今後、ポンプの能力増強について国に要望していきます。

その間は、ポンプ等を迅速に配置して、地域に浸水被害を出さないようにしたいと考えていることから、23年度予算でポンプ等借上料を計上しました。

また、建設協会と災害防災協定を締結していますので、初期出動を早くするよう確認していきます。

【再質問①】

中央川と徳島団地側の水路との合流点が、大雨のたびポンプアップしている状況です。その原因として、設置してある水門が機能していないことと、合流地点が直角であることが言えると思います。

従って、合流点の手前で線形を斜めにする事で解消できると思いますが町長の考えをお伺いします。

【答弁 町長】

道道冠水により町道公園通線が水に浸かったため、その影響で中央川の合流点も溢れる結果となりました。

原因調査につきましては、函館建設管理部が進めていますし、真駒内川の基本調査についても現在進められています。この結果が出次第対策を進めたいと考えています。

【再質問②】

当町は水害が起こりやすい地形にも関わらず、遊水池が全くありません。

中央川の河道遊水池を含めて何力所か設ける考えがあるのかお聞きします。

【答弁 町長】

平成14年以降、中央川の被害は無く、今回の豪雨でも氾濫までには至っておりません。

しかし、今回の豪雨で真駒内川に放流する樋門を閉めて北檜山排水機場で排水作業を

した結果、能力を超えた状況となったことから、今後ポンプの能力増強を国に要望していきます。

【再質問③】

国道を横断している中央川の排水管の管径が細いため、のみ込めない状況を踏まえると排水機場の能力アップを含めた改修を国に対して早急に

要望していただきたい。最後に町政執行方針で安全・安心して暮らせる住みよいまちづくりの実現に努力すると述べていますので、町民の不安を取り除くためにも早い対応策を検討していただき、さらについてるまで提示するのか再度町長の考えをお伺いします。



中央川と徳島団地側水路との合流点